

回復期の就労に関して雇用主との間で問題を抱えていませんか？

Workplace facilitated discussion (WFD、ワークプレイス・ファシリテイトッド・ディスカッション)とは、以下のような形で怪我や病気の後の回復期の就労支援を行う任意のサービスです：

- あなたと雇用主の両方またはいずれかが提起した問題の解決
- 回復期の就労のための実現可能な取り決め合意の支援
- 支援体制が整った環境のもとでの自主的な議論の提案
- 適切な回復期の就労計画の検討作成
- 関係者の期待の再設定

State Insurance
Regulatory Authority



ステージ1

回復期の就労に影響を与えている事柄について理解するために、有資格のスタッフ（ファシリテーター）との個別面談を行います。



ステージ2

あなたの回復を支援する実用的な解決策を策定するために、あなたと雇用主とのグループミーティングを行います。あなたの回復支援のための行動案がきちんと実行されているか、合意された計画のモニターを行います。



雇用主との間で職場の問題が発生し、回復期の就労に影響が出ている場合は、保険のケースマネージャー、労働組合代表者、指定の治療担当医師、または職場のリハビリ実施担当者に相談することができます。

Workplace facilitated discussion(ワークスペース・ファシリテテッド・ディスカッション)はどのような形で役に立つのでしょうか？

- アレックスさんは職場復帰計画について上司と話し合いにくいと感じていました。
- アレックスさんは上司に報告することに懸念を抱いていました。
- そこでアレックスさんは保険会社のケースマネージャーと話し、Workplace facilitated discussion (ワークスペース・ファシリテテッド・ディスカッション)を行うことにしました。
- アレックスさんと上司、そしてファシリテーターが集まり、コミュニケーションの障壁となっている事柄と懸念事項の解決に向けて議論を行いました。
- ファシリテーターは、すべての関係者が合意に達し、再出発できるようにこれらの話し合いをサポートしました。
- アレックスさんは合意された計画通りに職場に復帰し、上司からこれまで以上にサポートされていると感じています。

Workplace facilitated discussion (ワークスペース・ファシリテテッド・ディスカッション)の詳細については、こちらをご覧ください：

<https://www.sira.nsw.gov.au/workplace-facilitated-discussion>

